

地震から命を守るためには？

☆ケガをしないことです！！☆

《防災対策1：自宅内を安全な場所にする。》

★ 不要なものは捨てておく。

物が多ければ多いほど、災害時に落下や火災、連絡を塞ぐなどの危険が増えます

★ 出入り口や通路に物を置かない。

災害時は、避難経路の確保が大切です。倒れた家具等で扉が開かなくなり、通路が塞がれたりします。

★ 重い物は下に収容する。

重い物や割れやすい物は、なるべく地面に近い場所に収納しましょう。

家具の重心を下げることにより倒れにくくなり、割れやすい物の散乱も防止できます。

★ 寝室や人の集まる部屋の家具は固定する。

天井がコンクリート等でない部屋は、突っ張り棒での固定は有効とは言えません。

L字金具等で壁にしっかりと固定することが大切です。

★ ご自身で判断することなく

まずは、消防職員による家具診断をご利用下さい。

名古屋市消防局では家具転倒防止ボランティア派遣事業を実施しています。（別紙チラシ）



《防災対策2：自宅を安全な場所から避難所としましょう。》

★ 備蓄品を用意する。

最低3日分を用意しましょう。備蓄のために用意すると消費期限を忘れてしまうため普段食べるもので準備しましょう。（2Lのペットボトル6本、お菓子等）

★ 自宅の便所を使う工夫をする。

家庭用のごみ袋（45L、20L）を2枚重ね便器に被せ、排せつ後は小さいごみ袋を交換していきましょう。液体処理のため新聞紙、雑誌等で吸わせましょう。

★ モバイルバッテリーを準備する。

携帯電話は、停電により充電ができません。3、4回くらい充電できる容量のバッテリーを準備しましょう。

★ 懐中電灯を枕元に置く。

夜寝ている時の停電に備え、枕元に準備しましょう。



問い合わせ 北消防署総務課 担当 岡田
052-981-0119